# 地銀との連携を一層強化し グローバルマーケット事業を拡大

## ㈱ミロヴィーナスグループ

㈱ミロヴィーナス（東かがわ市川東四七五―四　小西　覚社長）は、社内でマーケティングプロジェクトチームを昨年暮れに編成、今春よりマーケティング事業部として自社グループの資産運用業務を本格的に行っている。

同事業は主に海外投資信託にて運用。金融機関との売買額は、この半年で30億円に上る。各金融機関との関係強化に努め2～3年後には世界グローバルマーケットにおける売買取引を、年間100億円を超える規模にまで拡大するという。最近では円高傾向、米国サブプライム住宅ローン問題による世界同時株安を早い段階から予想するなど、「マーケットの流れ」を的確に捉え、着実に運用成果を上げてきている。

「世界金融市場の時代を視野に入れ、グループ内での資産運用は2003年からテスト的にチャレンジしてきた。いまだ国内での商品流通は全体的に停滞しており、これからも少子高齢化の流れで国内消費は縮小の一途を辿ることは避けられないだろう。幸いにもミロヴィーナスグループは無借金経営で、運用に充当できる資産がある。このグループ各社の資産を活かし、世界経済の物・金の流れを詠んで積極的なグローバル金融投資を行い、グループ全体の利益を追求したい。

信頼関係があり親身になったアドバイスを下さる、しっかりした地方銀行との連携は、この事業を進めていく上で今後も不可欠だと確信している」（小西社長）

同社グループのように、一民間企業が機関投資家と同じ取り組みをすることは全国的に見てもレアケース。民間企業において経済流通マーケティングの第一人者になるべく、未知の分野に飛び込み流れを開拓できるのは、潤沢なキャッシュフローにあるのかもしれない。そして国内経済界で生き抜ける国際的な投資スタイルを、世界のマーケットに見出し夢の実現に向け確固たるシステム構築を目指す。

ミロヴィーナスグループの本業である健康食品企画販売は、少子高齢化などの影響で国内における商品流通が全体的に縮小すると予測、この2年間は事業規模を抑えつつ、東京に営業本部を置くグループ子会社の美意識㈱、元氣源㈱、元氣㈱にブランドを移行し、ミロヴィーナス東京本部の安藤専務、小川常務に実権を委ね専務を中心に展開。坂本龍馬をパッケージに採用したサプリメント、ドリンクなどを大手ドラッグストアで販売している。

美意識ブランドでテレビCMを行うなどイメージ戦略に努めてきたが、業界内ではヒットメーカーとして知名度の高かった「ミロヴィーナスブランド」に期待する中央の声が依然として根強くあり、現マーケティング事業の別サイドではあるが旧取引先からの声を代弁する安藤専務、小川常務らの強い要望に応えるべく、かつて企画のカリスマとまで言われた社長自らの個性的な企画を一部再開、今年11月1日からTVCMも視野に入れミロヴィーナスブランドを再流通させることを決めた。

まずは首都圏市場で基盤を固め、全国のドラッグストア・インターネット・テレショップへの導入提案を強化していく構えだが、現時点での企業の方向性は国内商品流通よりもグローバルマーケットの拡大にありそうだ。

## マルナカが宇多津町に大型店

㈱マルナカ（高松市円座町　中山芳彦社長）は、新店舗である「マルナカ新宇多津店」開設の大店立地申請を県に行った。

それによると、場所は綾歌郡宇多津町二四一九―一、旧松下寿電子工業坂出事業所跡地。

敷地面積は四二三四八㎡、地上2階建て延べ床面積二一七三〇㎡、店舗面積一四五八〇㎡を想定する。

商圏は半径七㎞圏とし、東は坂出市林田町、西は丸亀市金倉町、南は丸亀市川西町辺りまでを想定。商圏人口は約五万八千世帯。

駐車場台数は一一四二台、駐輪場も四二〇台分を整備する。

開店時間は午前9時、閉店時間は午前0時。オープン予定は平成20年5月12日となっている。

なお今月5日には高松市新田町の県道室町牟礼線沿いにマルナカ新田店（売り場面積一六五一㎡）をオープンした。

全国発送も承ります
讃岐伝統の味
石丸のうどん
―そうめん・ひやむぎ―
創業明治37年
石丸製麺株式会社
本社　香川県高松市香南町岡
☎(087)879-6111㈹ FAX879-8454

貴方をお待ちしています
ザナドゥ Xanadu
高松市古馬場町8-34 斉藤ビル2F TEL(087)823-5350